



会場には千四百余人の市民が



参加者全員がパレード

暴力団追放総決起大会

暴力団のいない
明るいまちにい

“社会の敵、暴力団を追放しようと、去る10月30日吉原市民会館大ホールで市民1,400余人が参加して暴力団追放富士市民大会が開かれました。

この大会は、町内会連合会をはじめ48の市民団体で構成された、富士市暴力団追放推進協議会（会長渡辺市長）が市民総ぐるみで暴力団追放運動を展開してゆくために開いたものです。

大会では、最初に会長の渡辺市長が「市民一人ひとりの力を結集して、暴力団のいない明るいまちをつくりましょう。」と市民総決起を呼びかけたのに続き、市内の暴力団の現状説明や「暴力団対策について」と題した講演のあと、大会決議文を採択し参加者全員で吉原本町通りをパレードしました。

9団体178人の暴力団

富士警察署の調べによると現在、

市内には9団体178人の暴力団員が存在し、その数は県内暴力団の1割を占めています。

暴力団は、暴力で市民と社会に恐怖と害悪を加える「カネのためならなんでもやる職業的犯罪者集団」です。

彼らは、一定の「縄張」という勢力範囲を持ち覚せい剤の密売、賭博、ゆすり、売春、ノミ行為、債権取立、倒産整理、示談屋等カネのためなら何んでもする市民の敵です。

暴力追放三^{さん}ない運動

- 暴力団を恐れない。
- 暴力団に金を出さない。
- 暴力団を利用しない。

この、暴力追放「三ない運動」を実践し、あらゆる暴力を見逃さず、勇気をもって明るく住みよい富士市をつくるために、市民総ぐるみで立ちあがりましょう。



奨学資金について教えて

(おたずねします)

私は、中学三年生の息子を持つ母親です。せめて、息子を高校に進学させたいと思っていますが、家計のやり繰りが大変で思い悩んでいました。

そんな折、知人から奨学金を得て高校に通っている人の話を聞きました。富士市の奨学金制度について教えてください。

(一主婦)

(おこたえします)

市は、将来、市民として優秀な人材を育成することを目的として、昭和四十三年三月富士市育英奨学資金制度を設けました。

この制度は、市内に居住する健康で、学業が優秀、品行方正な高等学校又はこれと同程度の学校に在学する生徒に月額八千円を、その学校の正規の修業期間給付するものです。

奨学金の給付を希望する生徒は、奨学生願書を学校長に提出してください。

学校長から推せんがあった生徒を対象に奨学生選考委員会で奨学生を決定します。

この他、市の制度とは別に大学、高校などに進学しようと思っても経済的な理由により、進学が困難な人のために学資などを援助する各種の奨学金制度があります。(市教育委員会学校教育課)